

会場内発言者の意見概要

9月25日 鹿島会場

《住民A》

保安規定の変更認可は、中国電力の再発防止への努力が認められたもので、運転再開の第一歩と理解している。

中国電力と地元が互いに信頼しあっていただけに、今回の件では大きなショックを受けた。中国電力は、今回の対策を確実に実行してほしい。

《住民B》

再発防止対策を確実に実行されたい。

取り組み状況を分かりやすく地元が発信されたい。

《住民C》

1号機の運転開始以来、共存共栄してきたが、今回の件で信頼が崩れた。

対策の一環として、3万戸の戸別訪問に取り組んでおり、意識向上の現れだと確信する。

中国電力が力強い決意をもって今後対処し、地域と原子力発電所の共存共栄を願う。

国が運転再開に問題はないと確認したこと、社長の決意等を踏まえ、一日も早い運転再開を願う。

《住民D》

2号機の運転再開は結構だが、住民の意見はどう吸い上げられるのか教えてほしい。

《住民E》

これで大丈夫だという雰囲気の説明会だが、データ改ざんのときも二度と起こさないとのことだったので、にわかに信じがたい。

設備が立派でも、使うのは人間。安全文化の醸成が一番大事。問題はこれからだと思う。